

アイデア③

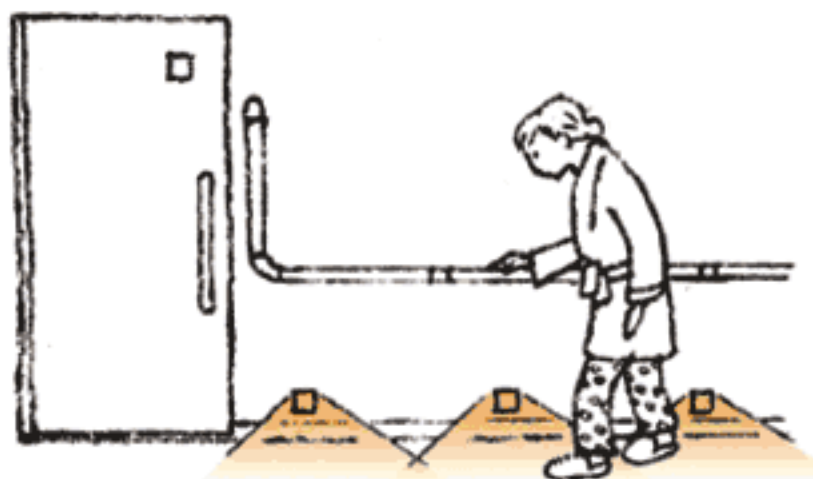
扉を開閉しやすく

扉は開き戸より、引き戸のほうが開閉しやすく、取っ手は大きい方が扱いやすいですよ。上吊りタイプの扉なら、軽く開閉できる上に、床が完全に平らになるので、つまずきも防止できます。ノブを変えるだけでもグンとラクになりますよ。



アイデア④ トイレまでの通路に照明を

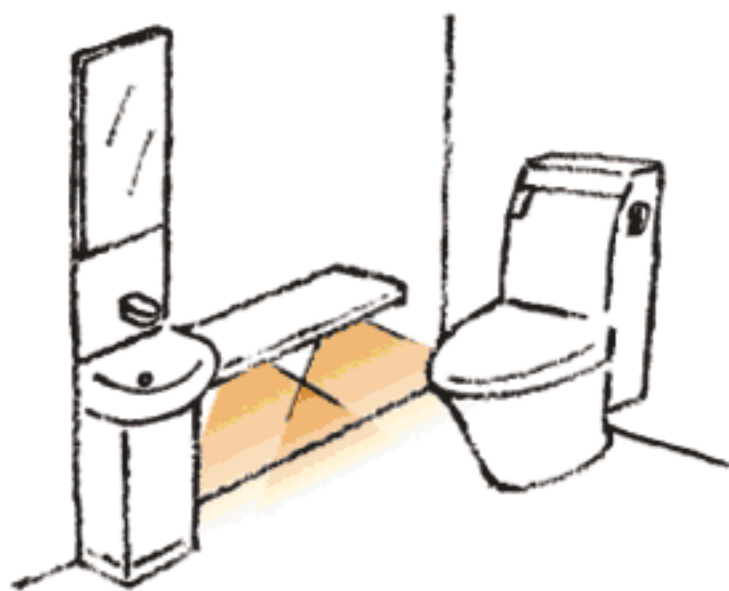
トイレが寝室の近くにあるのがベストですが、離れている場合、移動中の足下を照らす照明を付けましょう。人の動きを察知するセンサー付きの照明器具がおすすめです。



アイデア⑤

まぶしすぎない照明に

「夜中、トイレに起きるとその後眠れない」というお年寄りの声を聞きます。トイレ全体の照明のほかに、カウンターの下に照明を取り付け、夜中はこの照明だけをつければ、まぶしすぎません。



アイデア⑥

立ち座りを助ける工夫を

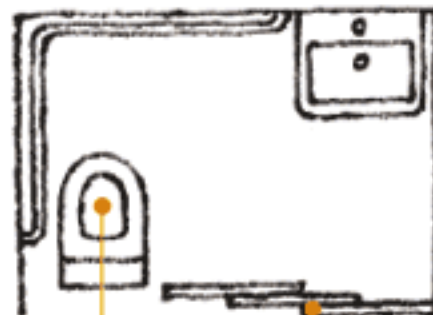
立ち座りを助けるために、L字型に手すりを付けるのがおすすめです。棚を付けると、手のひらを使って体を支えることができます。便座の昇降装置を付ければ、さらに便利です。



アイデア①

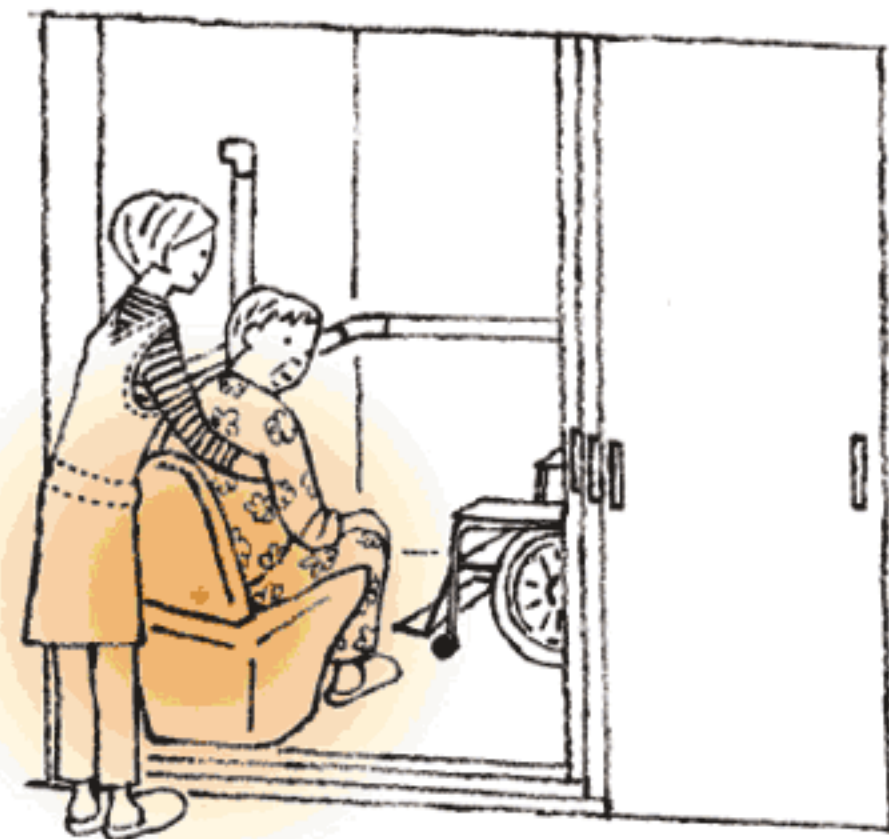
車いすでも使いやすく

車いすでトイレを使う場合は、開口部をできるだけ大きくしましょう。80cm以上が理想です。タンクがないタイプの便器の背を扉側になるよう設置すれば、後ろに人が立って介助することもできますよ。



背後から介助出来るように便器を配置

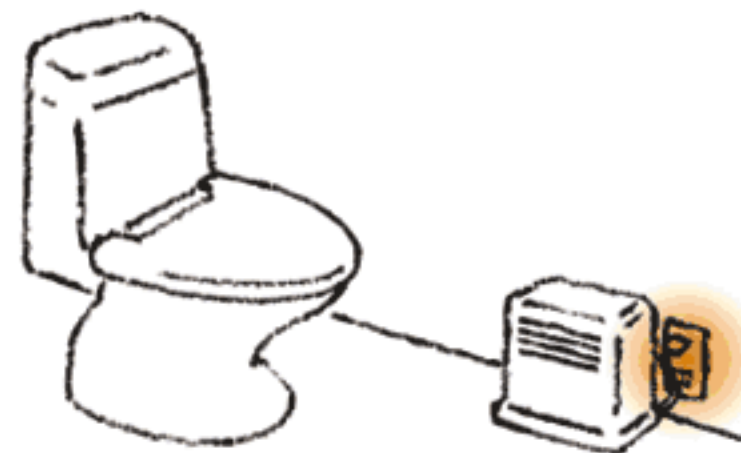
出入りの際はこちらを開けて入る



アイデア②

コンセントを増やす

便器の前の使いやすい位置にコンセントを追加すると便利です。冬の寒い時期、暖房器具を置くといいですね。



リフォームコンシェルジュのリフォームアイデア バリアフリーのトイレ

1日に何度も利用するトイレは、使い勝手をよくしておきたいもの。お年寄りも子どもも、みんなが使いやすいトイレのアイデアをご紹介します。